

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公表番号】特表2017-538020(P2017-538020A)

【公表日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2017-531853(P2017-531853)

【国際特許分類】

C 08 G 81/02 (2006.01)

C 08 F 20/06 (2006.01)

C 08 F 2/44 (2006.01)

【F I】

C 08 G 81/02

C 08 F 20/06

C 08 F 2/44 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年1月27日(2020.1.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

好ましくは、本発明のポリマーは、「実質的に線状」であり、このことは、これらのポリマーが、該ポリマーを作製するために用いられるメタクリル酸無水物の主鎖ポリマーの滴定によって決定されるとき、主鎖ポリマーに沿って架橋または鎖内連結（バックバイト）を形成するイミドまたは無水物基をメタクリル酸無水物の量に基づいて3%未満有することを意味する。このようなポリマーは、ポリマー添加剤から水性増粘剤にまで及ぶ使用において剛直棒状ポリマーのように作用することができる。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

本発明によれば、リン酸基含有前駆体ポリマーは、主鎖ポリマーを作製するために用いられるモノマー及び次亜リン酸塩を含む反応物質の総重量に基づいて、60重量%以上かつ最大98重量%のメタクリル酸(MAA)及び/またはその塩、好ましくは70重量%以上、またはより好ましくは80重量%以上と、1つ以上のリン酸化合物の残りの部分、また必要に応じて、ビニルまたはアクリルコモノマーから、リン酸化合物の存在下で従来の水溶液重合法によって形成される。